

地域ビジョン（2020年～2029年）

今、そして明日へ にじいろ撮陽

撮陽小学校地区自治協議会は、相互に「支え合う」「助け合う」「繋がり合う」気持ちを大切することを基本指針として、福祉のまちづくりをめざします。

地域の将来像とその実現に向けた基本目標と行動計画を取りまとめた地域ビジョンを策定しました。この地域ビジョンがしっかりと機能し、地域住民が安心して、楽しく暮らせるまちとなるよう、地域の誰もが気軽に参加できる活力あるコミュニティ活動を推進します。

一人ひとりの輝く未来へつながる虹の架け橋をみんなで一緒につくりましょう。



撮陽小学校地区自治協議会

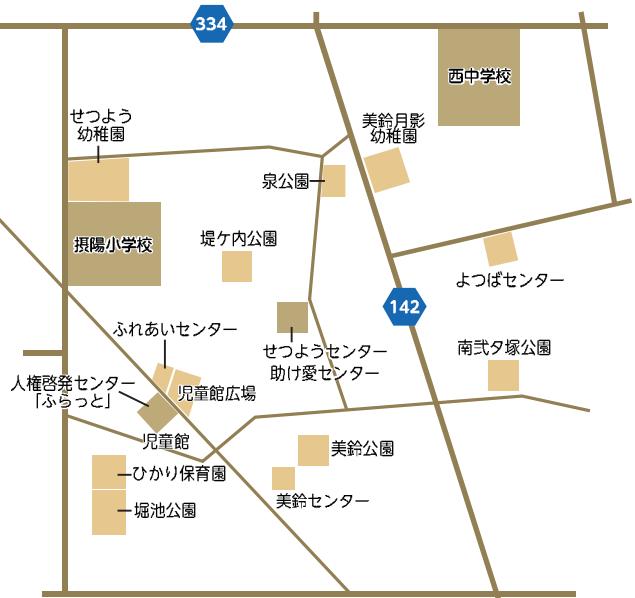
摂陽小学校地区の現況

地域の概要

摂陽小学校地区は、伊丹市の西南部に位置し、昆陽泉町・堀池・美鈴町・昆陽南・昆陽東の地域からなっています。人口8,698人、3,560世帯（平成27年度国勢調査）が暮らしており、市全体の人口の約4.4%を占めています。

当地域は、水口や小井などという旧地名から水利との関係が伺われるよう、昆陽井などの用水路から田畠に水を引き、農業を主体として行っていた地域でした。

大きな建築物としては、昭和22年に開校した「西中学校」があるだけで、住宅は少なく、のどかな田園風景が広がっていました。現在は、宅地化が進み、伊丹飛行場線、昆陽米谷線をはじめとする多くの幹線道路が整備され、バスや車などの利便性が良く、都市機能が充実した街となっています。さらに、摂陽小学校をはじめとする教育施設、近隣にあるものも含めると多くの医院やドラッグストア、スーパーなどの商業施設があります。また、公園や児童遊園、サロンやサークル活動の場として活用されている共同利用施設などが設置されており、子どもから大人まで、生活しやすい地域となっています。



まちづくりの課題

まちづくりとして取り組むべき課題を、まちづくりアンケート、まちあるき、3回の意見交換会ならびに地域ビジョン策定検討委員会での議論を経て、以下の6点に整理しました。

1 健康・福祉と人権

- 高齢化率が市内で1番目であり、高齢化への取り組みが更に重要となっています。
- 高齢者の情報共有や見守り、参加できる場づくりが重要となっています。

2 子どもの健全育成

- 見守りボランティアの人員が不足し、子どもの安全確保が難しくなってきています。
- ボール遊びや走り回れる場所が少なく、限られています。
- 子どもと高齢者との交流を通じて、子どもの育成を図っていく必要があります。

3 地域環境（緑化・美化）

- ゴミ出しや犬の散歩などのマナー違反が多く見受けられます。
- 地域内に心の安らぎを感じる緑の環境を増やし、大切にする必要があります。

4 防犯・防災・交通安全

- 無灯火や信号無視など自転車のマナー違反が多く見受けられます。
- 防災訓練への参加により、防災意識の醸成のより一層の取り組みが重要となっています。

5 地域の活性化・地域拠点

- 魅力あるイベントを開催するために、特に若い世代の参加や担い手が不足しています。
- 自治会などに属さない「個人」を取り込んでいく検討が必要となっています。

6 地域自治組織の基盤強化

- ホームページやフェイスブックなどを活用した広報の取り組みが必要となっています。
- 地域内での意見交換や活動拠点となる場所を確保する必要があります。

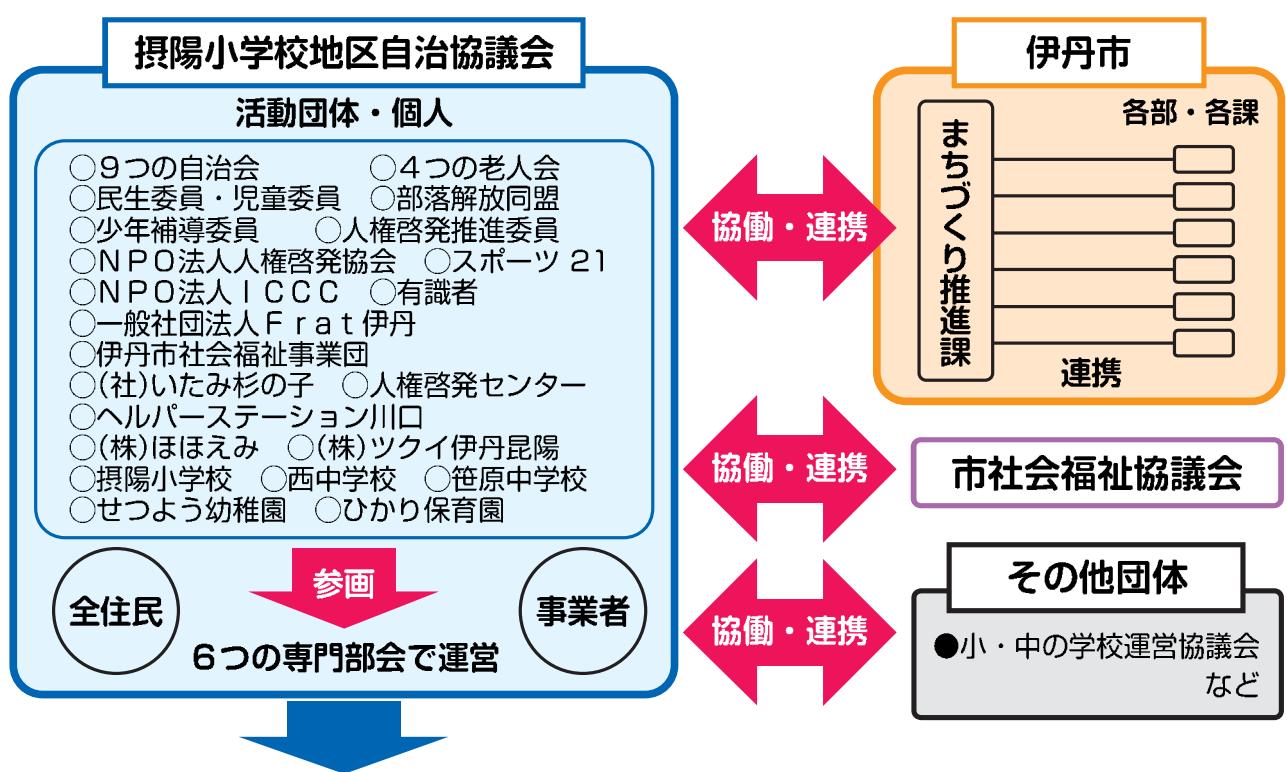
摂陽小学校地区自治協議会のあゆみ

昭和59年12月に「摂陽地区社会福祉協議会」が設立され、夏祭り盆踊り大会、バス旅行、新年鏡開き等イベントを中心とした活動が続けられました。他方地域内では急速に高齢化が進み、平成22年頃には17小学校区中2番目に高い高齢化率の地域となり地域福祉の必要性が高まってきました。しかし当時の組織は、自治会長が中心で民生委員と少年補導委員が補完する形態であったため、従前のイベントを繰り返すことに追われ、時代の変化や住民のニーズに的確に応えることが困難でした。

このために平成23年5月「摂陽地区社会福祉協議会」をいったん解散し、少子高齢化に対応できる新たな組織として同年12月、福祉NPOや民間事業者を含む地域のあらゆる団体を対象とした「摂陽地区福祉のまちづくり協議会」を再構築し、福祉的視点をあらゆる活動の根幹に据えながら、個性的なコミュニティづくりを意識的に追及してきました。具体的には市社会福祉協議会の支援を得て、地域福祉に係る多くの団体とで「摂陽地区地域福祉ネット会議」を立ち上げるとともに、平成25年12月には住民の自主的なボランティア活動の拠点として「せつよう助け愛センター」を開設し、虚弱な高齢者等の相談からコーディネート、日常生活支援まで地域で担えるサポート体制を整備してきました。

摂陽小学校地区自治協議会とは

平成31年伊丹市が地域の基盤強化を目指して「伊丹市地域自治組織の設立等に関する条例」を制定したことにより、「摂陽地区福祉のまちづくり協議会」も他の校区自治組織の名称の統一化の動きにあわせて「摂陽小学校地区自治協議会」に名称変更を行うとともに、とりわけ少子高齢化、地域社会の希薄化、無縁化が進み、地域社会の担い手の高齢化、担い手が不足する中、地域コミュニティを支える新たな社会資源として、地域に居住し働くすべての人や事業者を対象とする新たな地域自治組織を再構築し、持続可能な地域社会と自主的でかつ活力ある地域社会を目指すことになりました。日常的な活動は伊丹市や市社会福祉協議会等と連携し、住民のニーズに合った事業や地域社会が抱える課題解決を図るとともに、住民参加で作成した「摂陽地区地域ビジョン」の実現に向けて活動します。



(1) 誰もが安全安心に心豊かに暮らせるまちづくり

■「出会い・つながり・元気いっぱい」

摂陽小学校地区では、これまで地域ふれ愛福祉サロンや、ふれあい交流センター等集いの場や機会がつくられています。今後は高齢者だけでなく地域の誰もが気軽に参加できる環境を整えていきます。また、孤立を防ぎ、高齢になっても元気に活動できる地域づくりを進めます。

事業計画	種類	担当	取り組み期間
百歳体操・ラジオ体操等健康プログラムの実施	既存の拡充	福祉部会・自治会・市	短期
空き家を活用した教室（麻雀・俳句・サロン等）	既存の拡充	総務部会・福祉部会	短期～長期
高齢者交流会や鏡開き等イベントの開催	既存の拡充	福祉部会	短期～長期
空き家又は共同利用施設を活用した、ふれ愛福祉サロンやカフェの拡充	既存の拡充	総務部会・福祉部会・自治会	短期～長期
誰もが気軽に参加できる居場所づくり	新規	総務部会	長期
ふれあいバスツアー	新規	福祉部会	短期

■おたがいさまの助け合い

せつよう助け愛センターを設立し、困ったときには相談できる環境を整えてきました。助け愛センターの利用拡大を図るとともに近隣とのつながりを大切にし、できることを持ち寄って協力し合える関係づくりを進めます。

せつよう助け愛センターの利用拡大	既存の拡充	総務部会・福祉部会	短期～長期
声かけや日頃の見守り活動	継続	自治会・福祉部会・老人会	短期～長期
助け合いマップの作成	新規	自治会・福祉部会・老人会	短期～長期
「地域包括ケアシステム」の構築	新規	総務部会	長期

■暮らしづくりネットワーク

地域での社会的弱者の方の見守りは重要な課題です。地域の施設やNPO等の団体と連携し、地域で見守る仕組みづくりを推進するとともに、地域力の向上を図ります。

民生委員児童委員・自治会・地域包括支援センター やせつよう助け愛センター等との情報交換	既存の拡充	福祉部会・自治会・市	短期～長期
支援に向けた情報の把握と共有	継続	自治会・福祉部会	短期～長期
個人情報保護について理解を深める学習	新規	総務部会・自治会	短期～中期

(2) 人にやさしいまちづくり

お互いを尊重し差別をすることもなく、自分らしく生きていける共生社会を目指していきます。伊丹市人権・同和教育研究協議会、人権啓発センター、NPO等の団体とも協力し人権意識の向上を進めます。

人権を相互に尊重し合う環境づくりの推進	継続	人権啓発部会・NPO等団体	長期
差別問題を正しく理解するための学習	継続・新規	人権啓発部会	短期～長期
人権フェスティバル等への積極的参加	継続	人権啓発部会・NPO等団体	短期～長期



2 子どもの健全育成

テーマごとの
行動計画

(1) 多世代交流・子どもたちの居場所づくり・地域で子育て

摂陽小学校地区には広い公園がなくボール遊びができる場所も少なく夏休みの自由プールも監視員確保の課題から開催がむずかしくなるなど、子どもたちの楽しみにしていることが抑制される場面が増えてきました。また、子育てサークルがなく自治会によって子ども会があるところとないところがあり、小さな子どもたちとその保護者の支えとなる繋がりを生む機会が少ないので現状です。孤独な子育て環境にならないよう未就園児・未就学児とその保護者を含めた多世代住民の交流の場や子どもたちがのびのびできる機会づくりに取り組みます。

事業計画	種類	担当	取り組み期間
摂陽小学校の放課後運動場開放	継続	摂陽小学校・学校運営協議会	短期～長期
スポーツクラブ21摂陽との連携事業 (グラウンドゴルフ大会等)	新規	SC21・摂陽小学校PTA	短期～長期
土曜学習	継続	摂陽小学校PTA・摂陽小学校	短期～長期
ふれあい餅つき大会や昔の遊びを通じた文化の伝承	継続	子ども健全育成部会・摂陽小学校	短期～長期
自由プール（監視体制の増強）	新規	総務部会・摂陽小学校	短期～長期
ミニ収穫祭（芋堀大会、未就園・未就学児も可）	新規	総務部会	短期～長期

(2) 子どもたちの見守り活動

スクールガードによる登下校の見守り活動や、愛護パトロールの実施など地域全体で子どもたちを見守る意識の向上に取り組みます。

“ながら防犯”や下校時におとなが意識的に外へ出る工夫をしながら見守りを実施	既存の拡充	自治会・摂陽小学校PTA	短期～長期
ミマモルメの活用（周知活動）	新規	総務部会・自治会・摂陽小学校PTA	短期～長期
愛護パトロールの実施	継続	子ども健全育成部会・少年補導員・摂陽小学校PTA	長期
子ども110番の登録・管理・維持	既存の拡充	自治会・摂陽小学校PTA	短期～長期
腕章・パトロール札による見守り強化	既存の拡充	総務部会・摂陽小学校PTA	短期～長期
スクールガードによる登下校の見守り活動 (保険加入・講習受講)	新規	地域団体・個人・自治会 摂陽小学校	短期～長期

(3) ルールを学び・守れる人に

子どもたちの安全を守るためにには、子どもたち自身がルールを守ることも大切です。特に自転車事故、登下校時、放課後の事故から命を守るには「命を守るために守らなければならないルールがある」ことを知ることが大切です。ルールを守れる人づくりは、安心な地域社会を作ることにつながります。

自転車ルールを学ぶ機会の強化（全学年・地域）	既存の拡充	総務部会・摂陽小学校	短期～長期
登下校時のルールを学ぶ機会の強化	既存の拡充	総務部会・摂陽小学校	短期～長期
帰宅後の習慣「手洗い、うがい、宿題」の徹底	新規	学校運営協議会・各家庭	短期～長期
地域の住民（高校生・大学生）の教育参加	新規	学校運営協議会	短期～長期

(1)ひとり一人が豊かさや幸福感を謳歌できるまちづくり

■「豊かな緑と花いっぱいのまち」

緑や花のある公園づくり、花壇の維持管理を行い「四季折々の花や緑が心を豊かにする」そんな環境づくりを進めます。

事業計画	種類	担当	取り組み期間
定期的な樹木の剪定	継続	自治会	短期～長期
四季の草花の植え付け	継続	自治会	短期～長期
灌水作業	継続	自治会	短期～長期
除草及び落葉清掃	継続	自治会	短期～長期
にじいろガーデン（摂陽小学校花壇）維持管理	新規	摂陽小学校PTA・学校運営協議会・生活環境部会	短期～長期



(2)向こう三軒両隣の繋がりで環境美化ができるまちづくり

■「家庭ごみの問題を解決」

清潔な街並みはそこに住んでいる人の心に満足感を与えます。

ごみ減量活動の啓発	継続	自治会・市	短期～長期
ごみ出しマナーの周知徹底	継続	自治会・市	短期～長期
高齢者のごみ出し負担の軽減	継続	自治会・総務部会	短期～長期
再資源ごみの積極回収	継続	自治会・市	短期～長期
カラス被害の諸対策	継続	自治会	短期～長期
当番によるごみステーションの清掃	継続	自治会	短期～長期

(3)美しい環境はそこに住む人の美意識がつくり上げてくれます

■「安全・安心なまちに住みたいと誰もが思う。だから始める」

良い環境は人の心を美しくする。身近なところから人の心を美しくする。身近なところからご近所さんと一緒に清掃・美化活動を始めます。

自治会での一斉清掃	継続	自治会	短期～長期
公共施設の除草・清掃	継続	自治会・市	短期～長期
側溝・用水路の清掃	継続	自治会・市	短期～長期
生活道路の清掃	継続	自治会	短期～長期
ペット飼い主のマナー向上啓発運動	継続	自治会・市	短期～長期

(1) 防犯意識を高め、安心して暮らせるまちづくり

ご近所の人たちと気軽に声掛けし、お互いの関係を築きながら情報を共有し、地域の安全を高めていきましょう。

事業計画	種類	担当	取り組み期間
近隣同士の啓発活動により、防犯意識を高める	継続	自治会	短期～中期
空き家・空き地を把握し、周囲の整理整頓	新規	自治会	短期～中期
防犯研修・特殊詐欺の講演会を実施	継続	自治会	短期～中期
防犯標語を各家庭の門扉に掲示	継続	自治会	短期～中期

(2) 防災意識を高め、安全なまちづくり

近年、気候変動による自然災害が多発するようになってきました。日頃より訓練を重ねて、心の準備を整えておくことが重要です。

防災訓練に子どもや親世代の参加促進	継続	防災・防犯部会	短期～中期
災害時の支援体制づくり（防災連絡網・マップ作成）、避難経路・避難場所の確認と掲示	既存の拡充	防災・防犯部会・市 自治会・子ども健全育成部会	短期～長期

(3) 子どもの安全と安心を守るまち

地域の宝である子どもたちの安全をどう守っていくかは、私たちの大きな関心事です。優しいまなざしと厳しいチェックが必要です。

事件・事故発生時の対応を学ぶ	新規	自治会	短期～中期
危険個所の認識と標示設置	新規	自治会	短期～中期

※「②子どもの健全育成」に関する取り組み「(2) 子どもたちの見守り活動」と連携

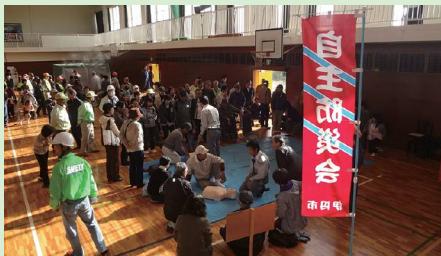
(4) 交通マナーとインフラの活用

市内全体で自転車事故が多発しており、高額の賠償請求となる事例もあります。交通ルールをよく知り、守って、事故の起こりにくい地域を目指します。

【交通マナー向上と事故防止対策】			
地域の交通事故の多い場所の把握	新規	総務部会	短期～中期
事故多発場所にポスターを掲示	継続	総務部会	短期～中期
自転車保険加入の推奨	継続	総務部会	短期～中期

※「②子どもの健全育成」に関する取り組み「(3) ルールを学び・守れる人に」と連携

【インフラの活用】			
避難所の場所・収容人数の周知	継続	自治会	短期
カーブミラー・防犯カメラの増設	継続	総務部会	短期～中期



(1) 誰もが参加し、楽しめるイベント（多世代交流）

老若男女がともに集い、楽しめる様々なイベントを実施することにより、賑わいの創出を行うと共に若者世代の行事への積極的参加や多くの人々の地域活動への参加を促します。

事業計画	種類	担当	取り組み期間
夏祭り盆踊り大会（内容の充実）	既存の拡充	総務部会	短期～長期
多世代交流会（高齢者交流会を多世代交流会に）	既存の拡充	福祉部会	短期～長期
新年鏡開き（内容の充実）	既存の拡充	福祉部会	短期～長期
運動会（摂陽小学校で自治会対抗－多世代交流）	新規	総務部会	中期～長期
健康フェア（講習・相談、軽スポーツ、体力測定等）	新規	総務部会	短期～長期

(2) 地域活動の担い手の発掘（若者参加）

地域活動の実施・継続には、多くの人々の力を必要とします。このため、多くの参加者を得るために、個々負担の軽減や若者の地域参加への方策を検討しつつ、イベントを通じて活動できる人、事業に参加できる人材の育成や積極的に活動をやってみようとする機運を育て、地域活動の担い手の発掘を行います。

地域活動についての意見交換会の実施	新規	総務部会	短期～長期
各自治会と自治協議会の役割分担（事業の見直し、振分け）の明確化	新規	総務部会	短期～長期
中・高生等若者のイベントへの参加（担い手発掘）	新規	総務部会	短期～長期
イベント時の学生・保育士による子育て支援（託児）	新規	総務部会	短期～長期

(3) 施設の有効活用・連携

地域内には、共同利用施設や学校、病院、福祉施設、増えつつある「空き家」などの施設が多く点在しています。これらの施設との連携を行なながら事業展開を模索していきます。また、地域内で「やる気」や「特技」、「資格」等があり、積極的に活動をしてみようと考える個人を発掘し、活躍の場を提供します。

空き家又は共同利用施設を活用した「子ども食堂」、「自由教室」	新規	総務部会・自治会	短期～長期
SC21 や地域で技能を持つ人等と連携したスポーツ教室	新規	総務部会	短期～長期
イベントポスター等の掲示（郵便局・銀行・病院 等）	新規	総務部会・自治会	短期～長期

(4) 組織の基盤強化（活動拠点の確保）

組織の基盤強化には、様々な会議や交流、相談、情報収集等ができ、事務所的役割をも担える活動拠点があることが望ましく、この確保に向けて検討を行います。また、広く多くの人々に自治協議会の活動を知ってもらうため、従来の広報紙「さんかくひろば」に加え新たな手段として LINE 等 SNS の活用を検討します。

地域活動の情報発信の強化（LINE 等 SNS の活用）	新規	総務部会	短期～長期
地域にあった役員選出の見直し	新規	総務部会・自治会	短期～長期
活動拠点確保（事務所・交流・情報収集・総合相談機能）	新規	総務部会	短期～長期



〈持続可能な地域社会の構築に向けて〉

(1) 情報発信の強化

事業計画	種類	担当	取り組み期間
自治協議会ホームページを開設	新規	総務部会	短期～中期
広報紙「さんかくひろば」編集委員体制強化	既存の拡充	総務部会	短期

(2) 財源の確保

財政調整基金の積み立て（寄付金、余剰財源があるとき）	継続	総務部会	長期
賛助会員制度を創設	新規	総務部会	短期

(3) 人材（担い手）の確保

事務局員の配置等事務局体制を強化	新規	総務部会	短期
協力役員制度を新設（自治協議会役員経験者・地域住民有志等）	新規	総務部会	短期

(4) 自治協議会の組織強化

自治会選出役員を原則複数名とし、最低1名は複数年職務を担当	既存の拡充	総務部会	短期
三役体制を強化、常任理事に教員を配置	既存の拡充	総務部会	短期
地域内自治会の意見交換会を開催	新規	総務部会	短期
団体会員の拡大	継続・新規	総務部会	短期～長期
行政と連携し自律的な運営が困難な自治会への支援、自治会空白地域の組織化	新規	総務部会	短期～長期
地域ビジョン実現のための自治協議会の新たな活動拠点を模索	新規	総務部会	短期～長期

(5) その他

事業計画を円滑に進めるために必要な自治協議会規約や専門部規定を改正	既存の拡充	総務部会	短期
毎年地域ビジョンの進捗状況を点検するために、自治協議会内に（仮称）「地域ビジョン点検委員会」を設置	新規	総務部会	長期

(6) 自治協議会活動の基本方針

- ・自治協議会に結集する諸団体及び個人は、相互に「支え合う」「助け合う」「繋がり合う」気持ちを大切に常に常に福祉的視点を諸活動の根幹に据えながら、活力あるコミュニティ活動を推進します。
- ・関係行政機関と連携を密にし、地域社会を構成する諸団体・個人が英知を集結し、各々の力量に応じて福祉、人権、防犯・防災、生活環境等の地域共通課題の解決や住民のニーズに寄り添う親睦・交流活動を推進し、安全で安心できる心豊かな共生社会の実現を目指します。

損陽小学校地区自治協議会が描く地域包括ケアシステム イメージ図=地域福祉ビジョン

今後連携の方法を検討

*登録SIPだけでなくご近所関係を踏まえた支援のコーディネートが可能



*ちょっとしたお困りごとを含む生活支援のお手伝いを行う

訪問型サービスB
身体介護を伴わない、家事援助や生活支援サービス（有料）



*サロンや健康体操、老人会、地域活動の紹介・コーディネートとしての社会参加
*運営ボランティアとしての社会参加

一般介護予防事業
「遊友クラブ」との連携した“いきいき百歳体操”を含む体を動かす場の普及と参加者の増加を目指す。運営ボランティアへ参加することで介護予防を期待。

*いつでも気軽に立ち寄れる場の創出（コミュニティカフェ等）



せつよう助け愛センター



*H29年4月時点での登録者は93名。うち87%が60歳以上。ボランティアとしての生きがいづくりや社会参加によって介護予防を期待。

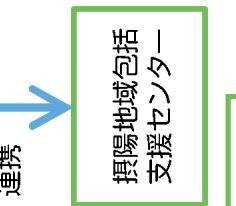


★空き家管理

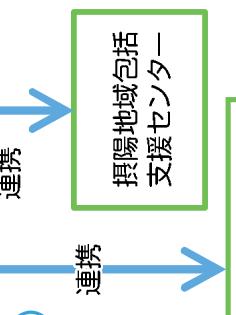


★居場所支援

*校区内の空き家管理と空き家の活用による活動場所の確保
助け愛センター等活動拠点との連携により地域内の空家の適正管理と高齢者等の生きがい・居場所づくり



伊丹市社会福祉協議会



●助け愛センター経費
<必要経費>
住民コードイニシアータ報償費
事務費
<収入>
伊丹市助成金
サポート活動収入
自治協約算からの繰り入れ
その他

損陽小学校地区自治協議会

役員会

専門部

理事

地区内福祉事業所

*地域課題の調整・発見。
地域資源の開発・活用。
情報交換・ネットワーク化を行う。

●助け愛センター経費
<必要経費>
住民コードイニシアータ報償費
事務費
<収入>
伊丹市助成金
サポート活動収入
自治協約算からの繰り入れ
その他



地域福祉ネット会議
(第2層協議体)

委員として
参加

せつよう助け愛センター

運営委員会

お困りごとを抱えた世帯について福祉サービスでできること・できないことを事業所と役割分担調整

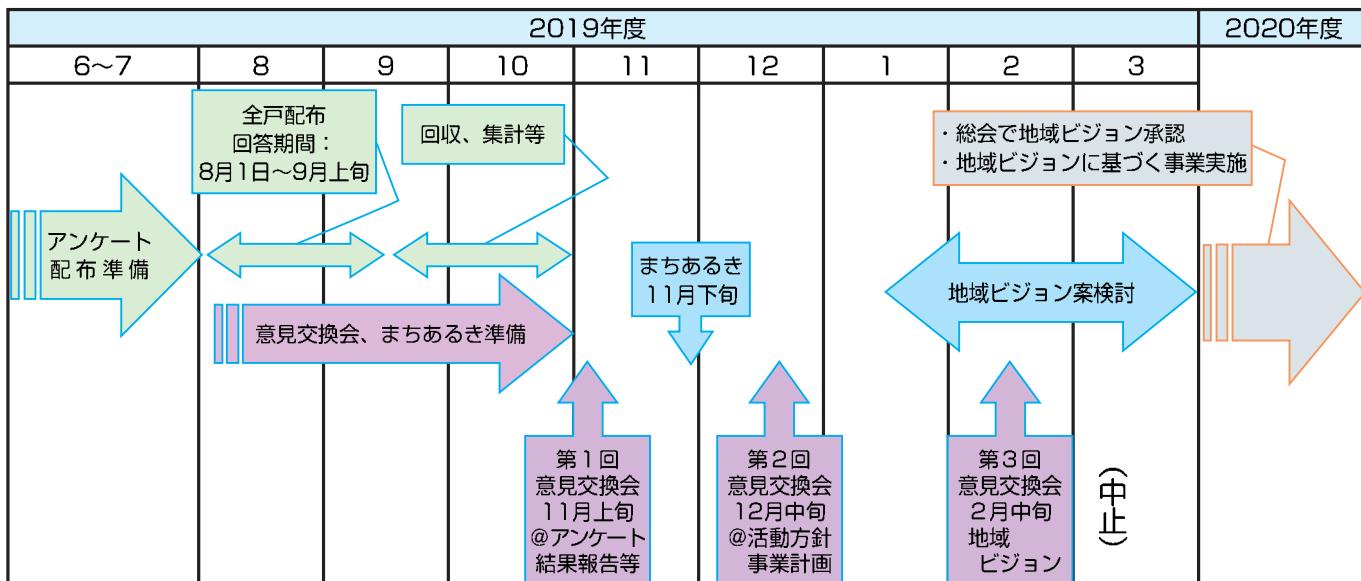


●助け愛センター経費
<必要経費>
住民コードイニシアータ報償費
事務費
<収入>
伊丹市助成金
サポート活動収入
自治協約算からの繰り入れ
その他

地域ビジョン策定の経過

伊丹市は一昨年地域コミュニティの基盤強化を図り、市民による主体的なまちづくりを推進することを目的に、「伊丹市地域自治組織の設立等に関する条例」を制定しました。本協議会は、この条例の施行に伴いこれまで使用していた「摂陽地区福祉のまちづくり協議会」を「摂陽小学校地区自治協議会」に名称を改めるとともに、概ね10年先を見通した「摂陽地区地域ビジョン」を策定することになりました。地域ビジョンとは、摂陽地域の望ましい「将来像」やそれを実現させる「活動計画」を示すものです。

＜地域ビジョン策定フロー＞



摂陽小学校地区地域ビジョン検討委員会委員

(所属・肩書は2019年度)

(名前)	(所属)	(名前)	(所属)
常澤 辰晃	自治協会長 第二美鈴自治会	松岡 修一	西中学校PTA会長
矢野 誠治	自治協副会長 泉町自治会	落合 厚志	摂陽小学校PTA顧問
鈴木久美子	摂陽小学校学校運営協議会会長	藤本 美和	摂陽小学校PTA役員
阪上 文雄	自治協事務局長	幸福 里美	摂陽小学校学校運営協議会委員 (臨時委員)
村田 忍	自治協事務局次長	狩野 勇	自治協事務局次長
南田 典子	自治協理事・民生委員・児童委員	井口 治	泉町自治会(プログラマー) (サポートー)
植田 潔	昆陽南自治会役員	島崎 勝	伊丹市まちづくり推進課
吉田 健	昆陽道塚自治会副会長	横山真知子	丹市社会福祉協議会CW
伊藤 政浩	まちづくり有識者		

今後の展開

多数の住民の皆様のご参加により、「摂陽小学校地区地域ビジョン」が、「今、そして明日へ、
にじいろ摂陽」を目指すべき将来像として構想され、その実現を図るために六つの柱の行動計画を策定されました。今後は毎年地域ビジョンの進捗状況をしっかりと検証するとともに、地域の皆様、摂陽小学校地区自治協議会に結集する諸団体と強く連携し、希望と活力に溢れる明るい摂陽地域社会の実現に向けて確かな歩みを進めてまいります。

摂陽小学校地区地域ビジョン

◆目指すべき将来像

「今、そして明日へ、にじいろ 摂陽」

◆実現のための六つの柱(行動計画)

(1) 健康、福祉と人権

(2) 子どもの健全育成

(3) 地域環境(緑化・美化)

(4) 防犯・防災・交通安全

(5) 地域の活性化・地域拠点

(6) 地域自治組織の基盤強化



挿絵 昆陽南 藤本美和さん



せつよう幼稚園の樹木



発行 摂陽小学校地区自治協議会

住所 〒664-0888

伊丹市昆陽南3-3-6

せつようセンター内

電話 072-782-2616

